

平成 23 年度

比企の川づくり協議会 総会資料

(2011 年 4/1～2012 年 3/31)

- I. 平成 22 年度 事業報告
- II. 平成 22 年度 決算報告
- III. 平成 23 年度 事業計画
- IV. 平成 23 年度 予算



アユ標識放流 追跡調査 都幾川

平成 23 年 4 月 16 日

滑川町 羽尾 1 区集会場にて

I. 平成 22 年度 事業報告

1. 河川見学会（第 10 回）

埼玉県東松山県土整備事務所と協働で、定例の河川見学会を実施した。

今回はプランが確定した槻川（小川町）をテーマに、工事実施に先立ち、近所の方に呼びかけ、現場でプランについて説明をいただき、意見交換を行った。

テーマ：水辺再生 100 プラン（槻川・小川町）

日 時：7 月 4 日（土）

内 容：日の出橋に集合。栃本堰、馬橋、相生橋を歩いて移動。県土様から事業計画説明、意見交換

参加人数 26 名



2. 比企流域懇談会

今年度は実施しなかった。

3. 関係行政との協議

（1）埼玉県東松山県土整備事務所

東松山県土整備事務所との打合せ概要

日 時	メンバー	議 題
5/18(火)	県土 6 名、協議会 7 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県土職員異動に伴う顔合わせ ・ 年間連携計画（河川見学会、懇談会、クリーンアップ 作戦）等 ・ 河川砂防事業計画、100 プラン
7/20(火)	県土 4 名、協議会 6 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市野川（羽尾） ・ 市野川（松山）
8/31(火)	県土 1 名、協議会 1 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川の再生フォーラム
11/12(金)	県土 2 名、協議会 4 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑編集
12/5(火)	県土 5 名、協議会 7 名	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市野川羽尾モニタリング結果報告と今後の対応について協議（A 区間新川入口の処理） ・ 市野川（松山）、

今年度の主なテーマ

- ・ 市野川水辺空間整備事業（羽尾）
- ・ 市野川河川整備事業（松山）
- ・ 水辺再生 100 プラン
- ・ 川の再生フォーラム、生き物図鑑



7 月 20 日のミーティングの様子

(2) 埼玉県環境管理事務所

お魚下敷の提供をいただいた水環境行政である埼玉県環境管理事務所への挨拶を行った。川イベントのサポート制度（水すましクラブ）などがあるので、連携を模索していきたい。

4. 川の再生フォーラム 出展（水槽展示）

東松山県土整備事務所からの依頼を受け、埼玉県主催の川の再生フォーラムに出展した。

この日の展示に向け、越辺川で1ヶ月前からモンドリ網による魚類採捕を行ったが、10種類以上の魚類が採捕され改めて生物の豊かさを再認識する機会となった。

また、環境省に展示許可手続きを行い、金沢氏、鈴木氏の採捕協力をいただき、オオクチバス、コクチバス、ブルーギルの水槽展示を行った。

日 時：9月26日（日）

場 所：槻川 嵐山バーベキュー川原

内 容：槻川のお魚 水槽展示



5. 市野川（羽尾地区）水辺空間整備事業

「市野川水系の会」と連携し、以下の取り組みを行った。

(1) 河川整備 現地協議

地元、土地改良区からの要望でC・D区間の暫定工事を行うこととなり、工事に先立つ現地協議に参加し、工事内容について合意した。

日 時：平成23年2月9日（水）

場 所：市野川 羽尾地区 C・D区間

参加者：東松山県土整備事務所、施工業者、滑川町、羽尾表前土地改良区、当協議会



(2) 河川環境モニタリング調査

B区間新川整備から2年目であり、出水後の秋に、微地形測量を継続した。

実施日：10月3日（日）、17日（日）、11/7（日）

測量場所：A～C区間

結 果

- ・整備1年目の地形データと対比したところ、B区間の蛇行河川・新川の大きな地形変化（侵食・堆積）は認められなかった。B区間蛇行河川の礫川原の泥質化傾向が認められた。
- ・B区間新川は滞筋と適度な流れが維持されており、周辺の中で最も魚影が濃い状態となっている。



(3) 川あそびイベント

「市野川水系の会」主催の第3回川あそびイベントに参加応援した。

- ・ 実施日：7月19日

(4) 植生観察会

関東拠点100選事業の一環として、市野川水系の会主催の河畔林の植生学習会に参加した。

- ・ 日 時：12月7日（火）午前中
- ・ 講 師：埼玉県生態系保護協会 熊谷様

(5) 視察対応

- ・ 4/22(木) 空掘川を考える会（東京都東村山市）、小倉代表ら4名
- ・ 7/4(日) 環境カレッジ専門コース川講座、主催 埼玉県生態系保護協会、10名程度
- ・ 2/6(日) 柳瀬川流域ネットワーク、宮本代表ら10名程度

6. 市野川（松山地区）

「市野川を再生させ隊」と連携し、以下の取り組みを行なった。

(1) 河川整備計画

- ・ 河川整備についての打合せを行った。

(2) ふれあい市野川クリーンアップ作戦

ふれあい市野川クリーンアップ作戦に参加し、当協議会はふれあい活動（生きもの採取・展示、パネル展示）を担当した。

- ・ 主 催：ふれあい市野川クリーンアップ作戦実行委員会
- ・ 実施日：11月13日（土）



(3) 新宿小学校 学校応援団のサポート

- ・ 「市野川を再生させ隊」をサポートする形で、新宿小学校の「市野川の生きもの調べ」に協力した。
- ・ 実施日：7月6日（火）



7. 槻 川

(1) 水辺再生100プラン事業（小川町）への対応

事業主体である東松山県土整備事務所様からの依頼もあり、また、事業前の現況データの取得として魚類調査の実施及び地元の子ども達・親子を対象とした体験活動を行った。

【魚類調査】

- ・ 実施日：6月20日（日）、7月10日（土）

【体験活動】

埼玉県生態系保護協会 安東様のご協力で実施。前日にモンドリ網7個程度設置。

- ・ 実施日：9月5日（日）
- ・ 内 容：カヌー体験、モンドリ網・定置網回収、ミニ水族館



8. 水辺再生 100 プラン 都幾川（新規）

都幾川の新玉川橋周辺が水辺再生 100 プランに採択された。事業主体である東松山県土整備事務所様からの依頼もあり、自然環境の現況調査を行った。

- ・ 実施日：5月22日（土）、8月7日（土・午後）
- ・ 内容：踏査、魚類調査 など



9. 砂防事業

特になし。

10. 生き物図鑑作成

東松山県土整備事務所と協働で生き物図鑑を作成した。埼玉県環境課額国際センター金澤氏に監修をいただき、当協議会が編集、東松山県土整備事務所が印刷・発行との役割分担で作成した。

貴重な機会をいただいたことに感謝したい。

11. アユ遡上作戦

荒川流域ネットワーク 荒川流域再生プロジェクトが実施するアユ標識放流、地引網大会に参加するとともに、都幾川での追跡調査を主体的に行った。

(1) アユ地引網大会

地引網の許可手続きがうまく行かず、急遽、投網での採捕となった。

- ・ 実施日：8月6日（金）



(2) 標識アユの追跡調査

都幾川で、投網による標識アユの追跡調査を行った。

- 1回目：6月19日（土）
- 2回目：7月24日（土）
- 3回目：8月14日（土）



(3) 落ちアユ調査（サイサン環境保全基金助成事業）

- ・ 実施日：10月16日（土）



12. コクチバス駆除作戦

平成22年のアユ追跡調査において、都幾川・越辺川の複数個所で複数のコクチバス未成魚が採捕されたことから、武州・入間川プロジェクト助成事業を活用し、急遽、コクチバス駆除に向けた取り組みに着手した。

(1) 学習会の開催

コクチバスの生態、駆除事例、都幾川水系における対応策について学習会を開催した。

日時：10月23日（土）

場所：羽尾1区集会場

講師：埼玉県環境科学国際センター 自然環境部長 金澤 光氏

人数：12名

(2) 現地踏査

学習会を踏まえ、コクチバス産卵場候補地を探すための現地踏査を行った。

あらかじめ空中写真と地形図で選定した産卵場候補水域（止水域、淵など）を対象として、水深、底質などの状況を確認し、写真撮影を行った。

日時：11月28日（土）

場所：都幾川、槻川

人数：4名

(3) 水温連続観測

産卵時期を推定するため、温度連続観測機器（データロガ）を購入し、都幾川（鞍掛堰上流、二瀬橋下、石代堰上流）で水温連即観測を試みた。冬季の渇水期の12月～2月間の水温連続観測データを取得することができた。



(4) 駆除計画の検討

コクチバスの生態と現地踏査結果を踏まえ、コクチバス駆除に向けた対応について協議し、駆除計画として取りまとめた。

日時：12月19日（日）

場所：高坂丘陵市民活動センター

人数：4名

13. 情報発信

当協議会のホームページの管理運営を行った。

14. イベント サポート

会員団体が実施したイベント、協力したイベントなどを以下に示す。

会員団体のイベント、協力したイベント

日 時	テーマ	主 催	場 所	内 容	当協議会の関わり
6/6 (日)	水質一斉調査	荒川流域ネットワーク	市野川・滑川	市野川水系の会	—
			ときがわ町内河川	もりんど	
8/1 (日)	川の体験活動	市の川・こどもエコクラブ	市野川 市の川小上流	生き物調べ	協力
7/6 (火)	市野川の生き物調べ	新宿小学校/ 市野川を再生させ隊	市野川 流れ川橋周辺	生き物調べ	協力
7/19 (祝)	市野川川あそび	市野川水系の会	市野川 羽尾地区	カヌー、生き物調べ	協力
7/31 (土)	川の生きもの調べ	児沢探検隊	越辺川 樋の口橋下流	生き物調べ、投網による アユ調査	協力
8/7 (土)	都幾川で遊ぼう	もりんど	都幾川 玉川小前	カヌー、生き物調べ	協力
8/26 (土)	農家・自然体験	まちづくり 楽会	都幾川 鞍掛橋周辺	板橋南学童保護者の会を 対象とした都幾川での自然 体験	協力
8/27 (金)	河童会議	河童会議 実行委員会	都幾川 鞍掛橋周辺	カヌー、生き物調べ	協力
10/9 (土)	東松山・こども環境祭り	東松山市	東松山市民文化 センター	ザリガニ釣り、ミニ水族館 市野川を再生させ隊と共 同出展	出展
11/7 (土)	新宿小祭り	新宿小	新宿小	ザリガニ釣り、小魚すくい 市野川を再生させ隊	協力
1/29 (土)	川の再生交流会	埼玉県	埼玉会館	運営協力 都幾川100プラン発表(も りんど)	協力

Ⅱ. 平成 22 年度 決算報告

2010(平成 22)年度 一般会計決算報告書(案)

<収入>

(単位:円)

項目	決算額	備考
1. 前年度繰越金	4,846	
2. 年会費	29,000	現金 1,000 円×23 名. 振込 1,000 円×6 名
3. 参加費	2,300	2,300 円(河川見学会 100 円×23 名)
4. 雑収入	6,003	6,000 円(寄付 3 名). 3 円(利子)
収入合計(A)	42,149	

<支出>

項目	決算額	備考
1. 事務費(資料作成・他)	16,456	コピー、消耗品、事務局経費(12,000 円=3 名分)
2. 通信費	10,494	はがき、切手、宅配便代
3. 傷害保険掛け金	2,000	1000 円×2 回
4. 雑支出	12,808	振込手数料、安東氏謝礼、のぼり旗用ポール、プラダン、電波利用料、他
支出合計(B)	41,758	

<差引残高>

項目	決算額	備考
差引残金(A-B)	391	

差引残金(A-B) 391 円は、次年度に繰り越します。

上記の通り、報告いたします。

2011 年 4 月 16 日 会計 山本 悦男

平成 22(2010)年度 特別会計決算書

<収入>

(単位:円)

項 目	予算額	備 考
1. サイサン環境保全基金助成金	493,503	都幾川・槻川・越辺川 アユ遡上作戦
2. 武州・入間川プロジェクト活動助成金	195,634	都幾川・槻川・越辺川 外来種駆除作戦
収入合計(A)	689,137	

<支出>

項目	予算額	備考
1. サイサン環境保全基金助成金	493,503	
2. 武州・入間川プロジェクト活動助成金	195,634	
支出合計(B)	689,137	

<差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金(A-B)	0	

上記の通り報告致します。

平成 23 年 4 月 16 日 代表 千葉茂樹

比企の川づくり協議会 平成 22 年度サイサン環境保全基金 支出明細書

No.1	内 容	金 額	備 考
1	トランシーバー購入費	415,399	
2	トランシーバー免許申請費用	30,075	
3	のぼり旗 作成費	26,935	
4	展示用水槽、のぼり旗 購入費	20,620	
5	水槽用架台	3,980	
	支出合計	497,009	A
	収入合計(助成金決定額)	493,503	B
	収支	-3,506	B-A(寄付扱い)

上記の内容で助成金を支出し、助成機関の審査を経て受領したことをご報告いたします。

平成 23 年 4 月 16 日

代表 千葉 茂樹

比企の川づくり協議会 平成 22 年度武州・入間川プロジェクト 支出明細書

No.1	内容	内訳	用途	内訳	合計金額
1	連続記憶式 温度計	センサー5 個、アダプター、解析ソフト	コクチバス産卵期推定用	—	39,375
2	棒状水温計	金属ケース入り棒状温度計 5 本	水温計測用	—	6,720
3	漁具	網ウケ(定置網)3 個、投網、なた 網、ヤス、ジョレン(3 個)、箱メガネ	コクチバス採捕及び産卵 床調査用、人工産卵床造 成用(ジョレン)	69,531	132,381
	もんどり網	直径 50cm、長さ 150cm、3個	コクチバス採捕用	62,850	
4	駐車場代		現地踏査	—	1,200
5	雑材	シャックル、ゴム等	水温計河川設置用具	2,934	14,038
	雑材	ロープ、番線、レンガ	水温計河川設置用具	5,808	
	雑材	名札、ペンキ	水温計河川設置用具	834	
	雑材	ゴムバンド、シャックル	水温計河川設置用具	3,270	
	雑材	木杭 4 本	水温計河川設置用具	1,192	
6	コピー代		12/19 打合せ資料(議題: 駆除計画、購入品など)	960	1,920
	コピー代		駆除計画案、他	450	
	会場費		12/19 打合せ会場費(議 題:駆除計画、活動予定 など)	510	
				合計	195,634

上記の内容で助成金を支出し、助成機関の審査を経て受領したことをご報告いたします。

平成 23 年 4 月 16 日

代表 千葉 茂樹

Ⅲ. 平成 23 年度 事業計画

1. 協働事業

(1) 河川見学会（第 11 回）

- ・ テーマ：槻川 100 プラン（小川町）工事中現場の視察
- ・ 実施日：7/3（日）

(2) 比企流域懇談会

- ・ テーマ案：都幾川 100 プラン（ときがわ町） 外来植物の植生管理 内容と体制
- ・ 日程：未定（状況により実施を検討）

(3) 県土との定例打合せ

- ・ 市野川水辺空間 除草管理、A 区間新川入り口改善、川沿いの散策路確保、CD 区間活用、（B 区間専門家検証は延期：河川整備基金に助成申請したが不採択）
- ・ 市野川（松山） 堰、住民参加（川を活かした街づくりの進め方）、イベント開催
- ・ 100 プラン（槻川・小川町、都幾川・ときがわ町）
- ・ その他

(4) ふれあい市野川クリーンアップ作戦

- ・ 実行委員会（総会）、ふれあい活動への参加継続。
- ・ 実施予定日：11 月 12 日（土）

2. フィールド活動

(1) ウグイのマヤづくり 4/2(土)実施済

(2) アユ遡上作戦

- ① 標識放流作業（荒川ネット主催） 4 月 17 日
- ② 追跡調査 第 1 回：6/26(日)、第 2 回：7/16(土)、第 3 回：8/21(日) 予定
- ③ 親子地曳網大会（荒川ネット主催） 8 月 13 日(土)
- ④ 産卵・落ちアユ調査 10 月 22 日(土)

(3) コクチバス駆除作業 産卵床探し、産卵親魚採捕

- 第 1 回：6/11(土) 環境科学国際センター 金澤部長を講師とした現地指導
- 第 2 回以降：未定

3. 体験活動サポート

(1) 市野川を再生させ隊イン松山

- ・ 7/2(土) 松山城跡シンポジウム 実行委員として対応。
- ・ 5/13(金)AM、6/4(土)AM 実行委員会予定(調整中)
- ・ 7 月中 新宿小の生き物調べ 協力。

(2) 市野川水系の会イン滑川町

- ・ リバーサポート制度に登録し、年間予定を提出済。
- ・ 6/4(土)PM 総会。
- ・ 7/9(土) 除草作業（イベント打合せ）

- ・ 7/23(土) クリーンアップ&川遊びイベント
- ・ 11/26(土) クリーンエイド活動(両家橋から上流)、
- ・ 1/28(土) 生態系学習会(関東拠点百選)、講師:日本生態系協会

(3) もりんど

- ・ 8/6(土) 都幾川で川あそび

(4) 槻川(小川町)、他 未定

4. 市野川 水辺空間整備事業(滑川町羽尾地区)

- ・ モニタリングの継続(微地形測量 等)
- ・ 協議事項: A区間入り口の改善、川沿いの散策路確保

5. 新規プロジェクト

(1) 春の小川再生プロジェクト(仮称)

「月輪・環境を守る会」が月輪用水路で進めている田んぼ用地を活用した用水路再生に協力する。

- ・ 場所: 月輪用水路(管理者: 滑川町)
- ・ 早々にプラン案を策定する。魚類調査の実施。
- ・ 実施日: 5/15(日)。その後は適宜。

(2) 川の体験活動、カヌー指導者養成

水防・防災意識向上、舟運復活等を意識し、川の体験活動体制の強化に向け、川の体験活動全般とカヌー指導者養成活動の準備を開始する。

- ① 普通救命講習 受講 6/26(日)8:30~12:30、東松山消防署
- ② 指導者養成計画の策定

川下りイベント、カヌー等の指導者養成計画を策定し、11月の24年度河川整備基金に助成申請する。

(3) 市野川(松山地区)川下りイベント

川を活かした街づくりを進めていくため、住民に川に関心をもってもらうイベントとして川下りイベントを定期開催していくための実効体制を構築する。

((2)項と関連づけて進めていく。)

- ・ 東松山市環境基本計画市民プロジェクトに位置付けられており、東松山県土整備事務所、東松山環境管理事務所、東松山市・吉見町に働きかけて、実行体制を作っていく。
- ・ 河川工事との調整確認: 東松山県土整備事務所
- ・ 詳細は、吉見町を含む地元メンバーで進めていく。

(4) 都幾川 鞍掛堰周辺 拠点整備

- ・ 鞍掛堰上流の水域はカヌー教室開催や水遊びの適地であり、東松山市が進めている拠点整備などと情報交換を図り、河川区域内の整備を含めた水辺拠点づくりを市民の立場で働きかけていく。
- ・ 今年度は関係者(県、市)との情報交換、意見交換から進めていきたい。

IV. 平成 23 年度 予算

2011(平成 23)年度 予算書(案)

<収入>

(単位:円)

項目	予算額	備考
1.前年度繰越金	391	
2.年会費	30,000	1,000 円×30 名
3.参加費	4,000	100 円×40 名
4.雑収入	10,000	寄付
収入合計(A)	44,391	

<支出>

項目	予算額	備考
1.事務費(資料作成・他)	22,000	用紙、コピー、事務局経費(1,500 円×12 ヶ月)等
2.通信費	10,000	はがき、切手、宅配便代等
3.傷害保険代	2,000	1,000 円×2 回
4.雑支出	10,391	資材、会場費、電波利用料、謝礼等
支出合計(B)	44,391	

<差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金(A-B)	0	

上記の通り提案致します。

2011 年 4 月 16 日 会計 山本悦男

寄付金 1 万円を目標としてます。皆様のご協力をお願いいたします。!

VI. その他

保有備品リスト

比企の川づくり協議会 保有備品リスト一覧表 (2011. 3. 31 現在)

分類	名称	仕様	数量	単位	保管場所 (管理者)	購入年・財源
モニタリング機器	測量機材	レベル計、コンパス、スタッフ、箱尺、巻尺、ハンマー 他	1	式	渡辺宅、羽尾物置	H21 河川
	水温連続観測機器	データログ、アダプター付き	5	個	千葉	H22 武州
	棒状温度計	現場計測用	6	個	千葉宅	〃
シンポジウム機器	プロジェクター		1	台	千葉、山本(悦)宅	H21 基金
	スクリーン		1	台	〃	〃
	延長ケーブル		1	本	〃	〃
イベント関連	テーブル	60cm、折りたたみ製	1	台	千葉宅	一般会計
	のぼり旗	ポール付き	6	枚	千葉宅	H22 サイカ
	クリーンエイド活用	イス付きテーブル、バケツ、ハサミ、ビニール袋 等	1	式	羽尾物置	H21 百選
共通	ゴムボート		1	式	羽尾物置	H21 基金
	ライジャケ		5	個	〃	〃
	ライフジャケット	子供用	6	個	〃	H22 寄付
	トランシーバー		5	台	千葉宅	H22 サイカ
水槽	90センチ水槽		1	個	千葉宅	H22 サイカ
	中型水槽セット	60cm 浅型(1)、縦型水槽(2)、	5	個	羽尾物置(千葉宅)	H21 百選
	小型水槽セット		9	個	千葉宅	H22 サイカ
漁具	さで網(大)		3	個	千葉宅	一般会計
	さで網(小)		3	個	〃	〃
	仕掛け網	上州屋	8	個	羽尾物置	H21 基金
	投網(小)	〃	1	個	千葉宅	〃
	モンドリ網	φ50×180cm、網源製	1	個	〃	〃
	モンドリ網	〃	3	個	羽尾物置	H22 武州
	モンドリ網	三谷釣漁具店製	1	個	千葉宅	〃
	定置網	〃	1	個	〃	〃
	定置網	〃	1	個	〃	〃
	旋網	〃	1	個	〃	〃
	投網(大)	〃	1	個	〃	〃
	ジョレン	〃	3	個	千葉宅、白石宅	〃
	ヤス	〃	1	個	千葉宅	〃
	書籍	河川構造令		1	冊	千葉宅
地形図の読み方(5冊)			1	冊	〃	H21 サイカ
古地図(市野川周辺)			1	冊	〃	〃
河川砂防技術基準、河川の科学、水生昆虫図鑑、埼玉県 の河川歴史			1	冊	渡辺宅	H21 基金

利用ルール

1. 機材の有効活用及び会員の多様な活動を支援する観点から、会員に貸し出しOKとする。
2. 借りる際は管理者の了解を得て借り、責任を持って返却する。
3. 借りる人が保管場所まで借りに行き、保管場所に返却することを原則とする。
4. 羽尾物置から持ち出す場合は、『貸し出しノート』に記載の上、借りる。返却時も記載する。
5. 皆で大切に使おう！
6. 問合せ先：協議会事務局 TEL080-6645-4099 (千葉・土日)

埼玉新聞 2010年5月13日(木)

河川の整備方法 市民団体が学ぶ

滑川の市野川視察

東京都東大和市の「空堀川を
考える会」(小倉安洋代表)は
滑川町内を流れる市野川を視察
し、市民参加による多自然河川
の整備方法を学んだ。

対応したのは比企の川づくり
協議会(千葉茂樹代表)。

東上線森林公園駅北側にある
市野川は河畔林が多く残り、自
然を生かした公園のように整備

されている。

空堀川を考える会の小倉代表



雨の中、自然あふれた工事箇所を
見学

によると、東京都は蛇行河川を
直線化する河川整備を進めてお
り、水辺で遊べる川が失われつ
つあるといい、同会は自然豊か
で水辺活動ができる河川敷を残
そうと活動中。「以前から訪問
したかったのですが、ようやく
実現しました」という。あいに
くの雨の中、比企の川づくり協
議会のメンバーに熱心に質問し
ていた。

(タウン記者 山本正史)

生き物調査で 魚やエビ観察

市野川で新宿小6年生

東松山

東松山市立新宿小(大塚一男校長)の6年生約100人が8日、すくもはを流れる市野川で、川に生きる「生き物調査」を実施した。調査は、前日に市民団体「松山城址周辺の市野川を再生する会」(渡辺仁代表)が仕掛けた網を、児童が川から引き上げ、中にいた魚やエビを観察用トレーで「再生する会」の講師に教えてもらいながら分類した。

川は「数日の雨で水量が多

かったが、小さな河畔林の樹木の下には多くの稚魚が網に入っていた。魚はモツゴ、フナ、タモロコなどで、ほかにも手長エビ、オタマジャクシ、アメリカザリガニなどが多かった。

学校に戻った後は、生き物調査の結果を発表。さらに講師の指導で取水した市野川の水質調査も実施した。市野川の国指定史跡「百穴」より下流は、各地で生活排水が入るため、やや汚い川とされる「河川C水系」(埼玉県水環境基準類型)に分類されている。講師は「川をきれいにしてしまおう」と話した。

児童は「多くの魚がいてびっくりした」「川を大切にしたい」などと感想を語り合った。大塚校長は「児童にこのような自然体験をさせるのはとても大切。児童が生き生きしてくる」と話していた。

(タウン記者・山本正史)



水槽などを使って熱心に生き物の分類をする新宿小の児童たち



蛇行する市野川で遊ぶ子どもたち

オオナマズにびっしり川

市野川で川遊びイベント 滑

子どもと大人、合わせて25人が参加した「第3回市野川で川遊びin羽尾」が19日、滑川町羽尾の市野川に架かる高橋周辺で開催された。主催は「市野川水系の会in滑川」（伊藤恭史会長）。参加者たちは県生態系保護協会の協力で仕掛けた網で川の生き物を観察したり、比

企の川づくり協議会会員の指導によるカヌーやゴムボートで川遊びを楽しんだ。気温が上昇する中での川下り体験では、インストラクターの山本悦男さんが「カヤック・カヌーは早瀬などでよく横転するのでライフジャケットを確実に着用して、安心して体勢回復するようにつけてくださいと指導。高橋周辺で蛇行する市野川は一時、水上スクールのようだった。投網では採集された魚やエビ、貝類が捕れたが、最大の魚類は40センチのオオナマズ。生きたナマズを初めて見た子どもは「大きくてビックリしたけど、こんな魚がすんでいる川なんだ」と驚いた様子だった。参加者たちは市野川に流入する小川「又五郎水路」付近のごみ拾いも行った。伊藤会長は「暑い夏を乗り切るのに、たまにはこの涼しい河畔林を散策して英気を養ってほしい」と話していた。

(タウン記者・山本正史)